

# 第1学年 国語科学習指導案

児童 2組 男子8名 女子11名 計19名  
指導者 早川 学

1 単元名 くらべてよもう  
教材名 「じどう車くらべ」 (光村図書 1年上)

## 2 単元の構成

### (1) 教材について

本教材は、小学校第1学年及び2学年の「C読むこと」の内容(1)のイ「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「B書くこと」の内容(1)のウ「自分の考えが明確になるように、簡単な組み立てを考えること。」を受け、「三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む」ことを目標としている。

本教材は、文章の構成が、「話題提示・問題提起」と「問題に対する説明」(バスや乗用車、トラック、クレーン車)となっており、児童が文章のまとまりを意識しやすい教材である。また、この時期の児童が好きな自動車を取り上げた説明的な文章なので、事柄の順序に着目しながら、興味をもって内容の大体を読み取る学習に適した教材である。

### (2) 児童について

7月に行った国語の意識アンケートの結果は次の通りである。

- ① 国語の勉強は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・74%
- ② 説明文の学習は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・84%
- ③ 説明文の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか。・・・74%  
(「見つけることが多い」も含む)
- ④ 読書は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・89%
- ⑤ 自分の考えを発表できますか。(「できるほう」も含む)・・・79%

アンケートの結果を見ると、多くの児童が国語、説明文の学習に意欲的に取り組んでいることが分かる。

児童はこれまで、「いろいろなくちばし」で、「問い」と「答え」という説明的文章の基本的な形式について学習をした。また、鳥のくちばしの特徴とその働きについて、挿し絵や写真を手がかりにしながら内容の大体を読み取る学習も行ってきた。これらの学習を通して、問いの文や答えの文を見つけることができるようになってきた。

しかし、内容の大体を読み取ることについては、本文に書かれていることを理解するまで時間がかかる児童も見られた。また読書体験や生活経験の不足からか語彙量が少なく、内容を正しく読み取り、発表できる児童は多くない。

これらのことから、読む、話す、書くという活動をバランスよく取り入れ、基本的な力を高めていきたい。本単元では、児童の学習に対する意欲を高め、興味を持って学習できるような手立てを取りたい。

### (3) 指導にあたって

「つかむ段階」では、自動車図鑑を作るという学習の見通しをもたせたい。また、文章構成をつかみ、問いを受けて3つの事例が挙げられていることをつかませたい。「ふかめる段階」では、挿絵や重要語句、接続語や文末表現を手がかりに、それぞれの自動車の仕事と作りの関係を考えながら読み取らせていきたい。また読み取りにあたっては、自動車パーツカードをもとにそれぞれの自動車を比べて考えることで、挿絵と本文に着目させたい。また「しごと」と「つくり」の関係を具体的にイメージさせることで、作りを正しく理解させていきたい。「まとめる段階」では、自分で選んだ自動車の図鑑を、本文を参考に文章の組み立てを考えさせ、書かせるようにしたい。

## 3 単元の目標

- ◎ 自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書く。

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・乗り物の本などに興味をもち、探して読もうとする。

〈読む能力〉

- ・三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。〔イ〕
- ・語や文のまとまりを考えながら声に出して読む。〔エ〕

〈書く能力〉

- ・教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書く。  
〔ウ〕

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・片仮名で書く語を読んだり書いたりする。〔イ（ア）〕

#### 4 単元の指導計画と評価規準（全10時間「読むこと」6時間「書くこと」4時間）

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への 関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語について 知識・理解・技能
つ か む	1	○全文を通読し、学習の見通しをもつ。 ・挿絵や経験をもとに話し合い、「じどう車ずかん」を作る計画を立てる。 ・漢字の学習をする。	自動車について知っていることを発表しようとしている。 〈発言・態度〉	何の自動車を説明しているかとらえている。 〈発言〉	漢字や語句について理解している。 〈発言・音読〉 片仮名を正しく読んだり書いたりする。 〈発言・音読〉
	2	○文章構成をつかむ ・「問い」の文を読み取る。(段落①②) ・語句の学習をする。 ・音読練習をする。	進んで音読練習をしている。 〈態度〉	文のまとまりや「問い」と「答え」を理解している。 〈発言・ノート〉	指示語の指示内容を正しく押さえながら、話題提示文をとらえている。 〈発言・ノート〉 「どんなしごとをしていますか。」 「そのために、どんなつくりになっていますか。」
ふ か め	3	○バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を理解する。(段落③④) ・1枚のカードに視写し、絵をかく。	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」に関心をもち、内容の大体を読もうとしている。 〈サイドライン・発言・カード〉	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。 〈サイドライン・発言・カード〉	文末や重要語句に気をつけて読んでいる。 〈発言・ノート〉 「しごと」 「つくり」 「しごとをしています。」
	4 (本時)	○トラックの「しごと」と「つくり」を理解する。(段落⑤⑥) ・1枚のカードに視写し、絵をかく。	トラックの「しごと」と「つくり」に関心をもち、内容の大体を読もうとしている。 〈サイドライン・発言・カード〉	トラックの「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。 〈サイドライン・発言・カード〉	「そのために～あります。(なっています。)」 「そのために」 「ぎせき」 「けしき」

る	5	○クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解する。(段落⑦⑧) ・1枚のカードに視写し、絵をかく。	クレーン車の「しごと」と「つくり」に関心を持ち、内容の大体を読もうとしている。 〈サイドライン・発言・カード〉	クレーン車の「しごと」と「つくり」を結びつけながら、内容の大体を読み取っている。 〈サイドライン・発言・カード〉	「にもつ」 「うんでんせき」 「にだい」 「つりあげる」 「じょうぶ」 「のびたりうごいたり」 「車たい」 「しっかりしたあし」
まとめ	6	消防車について「しごと」と「つくり」を見つけて書く。	消防車の「しごと」と「つくり」に関心を持ち、説明の文章を書こうとしている。 〈発言・カード〉	消防車の「しごと」と「つくり」を見つけ、説明の文章をかいている。〈カード〉	主語と述語の関係に注意しながら書いている。 〈カード〉
ひろげる	7・8	○自分の好きな自動車を選び、説明の文章を書く。 ・自動車についての本を読む。 ・下書きをする。	進んで本を探して読み、自分の好きな自動車についての説明の文章を書こうとしている。 〈態度・カード〉	調べたい部分を探し出して、本文を参考に組み立てを考え、「しごと」と「つくり」のわかる説明の文章をかいている。〈観察・カード〉	主語と述語の関係に注意しながら書いている。 〈カード〉  ↓
	9	○清書して絵をかく。	楽しんでカードを仕上げようとしている。〈態度・発言〉	組み立てに気をつけながら清書している。〈カード〉	
	10	○友達と交換して読み合い、図鑑にまとめる。	友達の「じどう車ずかん」のよさを見つけようとしている。 〈態度・発言〉	友達のカードを「しごと」と「つくり」に気をつけながら読んでいる。 〈態度・感想〉	

## 5 本時の指導

### (1) 目標

トラックの「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

### (2) 指導にあたって

#### 仮説1 〈板書構成の工夫〉に関わって

課題解決の見通しをもたせるために、つかむ段階で本時の学習の流れを板書で確認する。課題解決の手がかりとなる語句を紙板書で意識付ける。まとめにつながる語句は色チョークを用いて強調する。

#### 仮説2 〈学び合い〉に関わって

トラックの「しごと」と「つくり」の読みを、より確かなものにするために、自動車パーツのカードを使い、トラックの絵を完成させていく。その際、理由を話させることによってトラックの「しごと」と「つくり」の関係を具体的にイメージし、正しく理解させたい。また、バスとの比較もさせたい。

#### 仮説3 〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

課題に対する答えを見つけることができたか、考えを発表することができたかなど振り返りと感想発表を行うことで、達成感を感じさせ、次時への意欲づけを図りたい。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動 (○発問・児童の反応)	一人	複数	全体	・留意点 評価 〈評価方法〉
つ か む 5 分	<p>1 前時の学習を想起する。 ○ 前の時間は、何の自動車の学習をしましたか。</p> <p>2 学習課題の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(トラック) はどんなしごとをしていますか。そのために、どんなつくりになっていますか。</p> </div>				<p>・「問題 (問い)」を受けての、本時が「答え」の2番目の事例の学習であることを確認する。</p> <p>・本時で学習する自動車を確認し、課題につなげる。</p> <p>・問題では、2つのことが提示されていることを確認する。</p>
ふ か	<p>3 課題解決の見通しを持つ。 ○ 調べる手がかりになる言葉は何ですか。 ・しごと ・そのために ・～います。</p> <p>4 トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。 ○⑥⑦段落を音読しましょう。</p> <p><b>○トラックの仕事が書いてあるところに、鉛筆でサイドラインを引きましょう。</b> ・トラックは、にもつをはこぶしごとをしています。 ○「にもつ」とはどういうものですか。 ・箱に入っているもの。 ・重いもの。 ○「はこぶ」とはどういうことですか。 ・別の所へ持っていく。 ・載せる。</p> <p><b>○そのために、トラックは、どんな「つくり」をしているでしょう。「つくり」が書いてあるところに鉛筆でサイドラインを引きましょう。</b> ・うんてんせきのほかは、ひろいにだいになっています。 ・おもいにもつをのせるトラックには、タイヤがたくさんついています。 ○「うんてんせき」とはどこのことですか。 ・うんてんするひとがのるところ。 ○「にだい」とはどこのことですか。 ・にもつをのせるところ。 ・うんてんせきのうしろ。</p> <p>5 トラックの「つくり」を、自動車パーツカードをもとに考え、読み取ったことを確かめる。</p> <p><b>○トラックは、この形でよいですか。</b> ・にだいをつける。</p>	一人 学 び			<p>・課題解決の見通しをもたせるために、板書で学習の流れとまとめ方を提示する。 ・「しごと」と「つくり」の意味を確認する。 ・「しごと」にあわせた「つくり」になっていることにふれる。 ・「しごと」「います」「そのために」の言葉を箱で囲むことで課題の答えを見つけられるようにする。</p>
				学 び あ い	<p>・全体で確かめた部分に、赤いサイドラインを引かせ、挿絵で確認する。(教科書)</p>
		一人 学 び			<p>・「つくり」は二つ提示されていることを確認する。</p>
				学 び あ い	<p>・「うんてんせき」と「にだい」の意味や位置を確認する。</p> <p>・全体で確かめた部分に、青いサイドラインを引かせ、挿絵で確認する。(教科書)</p> <p>自動車パーツのカードを基に考えることで、バスと比較しながらトラックの「つくり」を理解できるようにする。 (発言)</p>

<p>め る</p> <p>30分</p>	<p>・タイヤをふやす。</p> <p><b>○トラックがこのような「つくり」になっているのはなぜですか。</b></p> <p>・にもつをたくさんはこぶために、にだいがいる。</p> <p>おもいにもつをつんでもはしれるように、タイヤがたくさんついている。</p> <p>○トラックの「つくり」が書いてあるところを音読して確かめましょう。</p> <p>○バスと同じところや違うところがありますか。</p> <p>・バスと同じで運転席のガラスが大きい。</p> <p>・バスと同じでタイヤが大きい。</p> <p>・バスと違ってにだいがついている。</p> <p>・バスと違ってタイヤがたくさんついている。</p> <p>6 図鑑カードに書いてまとめる。</p> <p>○トラックの「しごと」と「つくり」についてまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しごと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">にもつをはこぶしごとをしています。</div> <p>そのために つくり①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ひろいにだいになっています。</div> <p>つくり②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">タイヤがたくさんついています。</div> </div> <p>○まとめたことを発表しましょう。</p>		<p>学 び 合 い</p>	<p>・理由を話させることによって、本文や挿絵に着目したり、バスとの比較に気付いたりできるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>A評価＝「しごと」と「つくり」をまとめ、バスと比べて気付いたことも書いている。</p> <p>Cへの支援＝個別に黒板の色枠で囲んだ言葉でまとめればよいことを示唆する。</p> <p>〈自動車図鑑カード〉</p> </div>
<p>ま と め る</p> <p>10分</p>	<p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>・感想を発表する。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>			<p>・学習の自己評価をノートに書くことを指示する。</p> <p>・クレーン車の「しごと」と「つくり」を学習することを確認する。</p>

《自己評価の観点》

- ①トラックの「しごと」と「つくり」が分かったか。
- ②自分の考えを発表できたか。
- ③友達の考えのいいところがわかったか。
- ④今日の学習は楽しかったか。

(4) 主な発問と板書計画

1年 「じどう車くらべ」(4/10時間目) 指導者 早川 学

本時の指導

(1) 目標

バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(2) 指導にあたって

仮説1 <板書構成の工夫>に関わって

課題解決の見通しをもたせるために、つかむ段階で本時の学習の流れを板書で確認する。課題解決の手がかりとなる語句を紙板書で意識付ける。まとめにつながる語句は色チョークを用いて強調する。

仮説2 <学び合い>に関わって

トラックの「しごと」と「つくり」の読みを、より確かなものにするために、自動車パーツの間違い探しを行い、トラックの絵を完成させていく。その際、理由を話させることによってトラックの仕事と作りの関係を具体的にイメージし、正しく理解させたい。また、バスとの比較もさせたい。

仮説3 <一人一人の評価の積み重ね>に関わって

課題に対する答えを見つけることができたか、考えを発表することができたかなど振り返りと感想発表を行うことで、達成感を感じさせ、次時への意欲づけを図りたい。

主発問等

<つかむ>

○前の時間は、何の自動車の学習をしましたか。

<ふかめる>

○トラックの「しごと」「つくり」が書いてあるところに、鉛筆でサイドラインを引きましょう。

○「にもつ」とはどういうものですか。  
○「はこぶ」とはどういうことですか。

○そのために、トラックは、どんな「つくり」をしているでしょう。「つくり」が書いてあるところに鉛筆でサイドラインを引きましょう。

○「うんてんせき」とはこのことですか。  
○「にだい」とはこのことですか。

○トラックは、この形でよいですか。

○トラックがこのような「つくり」になっているのはなぜですか。

○バスと同じところや違うところはありますか。

<まとめる>

○トラックの「しごと」と「つくり」についてまとめましょう。

(板書計画)

じどう車くらべ

かだい

トラックは、どんなしごとをしていますか。そのために、どんなつくりになっていますか。

<つかむ>

「にもつをはこぶ」「つくり」と

そのために

<ふかめる>

①ひろいにだい  
②タイヤがたくさん

まとめ

トラックの挿絵

間違い探しカード

トラック

絵

しごと

にもつをはこぶしごとをしています。

そのために、

つくり①

うんてんせきのほかは、ひろいにだいなっています。

つくり②

タイヤがたくさんついています。

くらべてきがついたところ